

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年3月22日のビデオメッセージ（要約）>

たった一つのウイルスがこれほどまで世界に影響を与えるとは、だれが想像したでしょう。世界中で物資不足が起きています。多くの人が検査を受けて、自分や家族が陽性だったらどうしよう、と恐れています。私はここ3週間毎朝コンビニにアルコール消毒液を求めに通っていますが、手に入りません。物資不足は、心に恐れを生じさせます。物の不足によって生じる恐れについて、旧約聖書の列王記下4:1-7に載っています。ここに出てくる女性は、夫を失った喪失感の中で、物資不足に直面し、さらに、債権者が来て、彼女の二人の息子を連れ去るかもしれない、と恐れていました。しかし彼女は、自分に出来ることを勇気をもって実行しました。彼女は、神を愛する敬虔な人物、エリシャを訪ねました。私たちも、困難な境遇にある今、神に助けを祈り求めましょう。エリシャは「あなたの家には何があるか？」と尋ねました。彼女が「自分には何もありません」と答えたとしても、当然だったでしょう。しかし彼女は「家には少しだけ油があります」と答えました。神様は、彼女が手に持っているわずかなものを通して奇跡を行ってくださいました。奇跡はいつも、神を信じるひとりの人が、神に従順することから始まります。今日あなたも「自分には何もできない」と思っているかもしれません。しかし、祈りましょう。神様の愛があなたに注がれ、他の人に愛を伝えることができるように、導きを求めましょう。いくつかアイデアがあります。あなたは、誰かに励ましの電話をかけたたり、手紙を書いたり、ご近所のどなたかを訪ねて、安否を問い、お祈りすることができると思います。そこから大きな機会が開かれて行くことでしょう。もちろん、訪問することで相手を恐れさせてはいけません。適切に距離を取って、知恵と配慮をもって行いましょう。聖書の中に出てくる油は、明かり、調理の燃料、薬として用いられました。今日、神様が奇跡を起こしてアルコール消毒液を増やしてくださるとよいですね。世界のすべての人にとって、今、とてもつらい時です。いつこれが終わるのか、だれも見通せないからです。しかし、わたしたちは神が必要を満たしてくださると信じて、希望をもって生きることができ、また、その希望によって、誰かを励ますことができるのです。